

## 日本動物看護学会 第64回例会・第4回宮崎例会 開催報告

本例会の宮崎県での開催も今回で4回目となり、昨年度同様に宮崎県獣医師会主催の研修会でもある「第1回小動物臨床部会セミナー」との同時開催という形で実施された。参加人数は87名で、現役の動物看護師が19名、学生が38名、その他に獣医師などが30名と盛会であった。

地震や台風などによる大規模災害が頻発している昨今、災害現場での動物看護師や獣医師の活動の重要性が大変注目されている。そこで、今回は獣医師であり、災害派遣獣医療チーム（VMAT）の創設者でもある船津敏弘先生による福岡VMATの活動について実際の事例を交えて、災害時における動物看護師の役割や災害に対する基本的な考え方などをご講演いただいた。続いて、九州保健福祉大学の加藤謙介准教授による熊本地震での同行避難やその後の避難所での生活などについてお話をいただいた。また、昨年6月に成立した愛玩動物看護師法についても、宮崎ペットワールド専門学校校長先生に国家試験に向けての同法の現状での動きについてご講演をいただいた。いずれのテーマも現職の動物看護師や動物看護師を目指す学生にとって大変有意義な内容であった。

参加者からも実際の災害現場での動物看護師や獣医師の働きが紹介され、非常に勉強になったというご意見や、まずは災害について知ることが重要であることを改めて知ることができたとの声をいただいた。また、講演の休憩時間には積極的に講師の先生方に質問をする参加者の姿も見られ、参加者からは多くの満足の声が聞かれた。

やはり、福岡や東京などの都市部と異なり、セミナーでの話を聞く機会が限られている宮崎での開催は現場の動物看護師や動物看護師を目指す学生たちにとって大変有意義なものであると思われた。今後も宮崎例会は宮崎県獣医師会との共催で定期的開催してゆきたいと考えている。

